



生活者と社会の中に「新しい幸せ」を生み、
その幸せをつないで、広げていくこと。
これが、博報堂DYグループのCSRの基本理念です。

そして、私たちのCSR活動の基盤となっているのが、
「生活者発想」と「パートナー主義」、2つのポリシーです。

「生活者発想」とは、人々を単なる「消費者」ではなく
「生活する一人ひとり」として深く洞察。
そこから新しい価値を生むという、私たちの発想の原点です。
「生活者発想」には、「その人にとって、ほんとうに善いことか」という
問いかけが極めて重要になってきます。
生活者の集合が社会であり、
それは「社会にとって、ほんとうに善いことか」という問いでもあります。

「パートナー主義」とは、つねに生活者視点に立って、
クライアント、メディアのビジネスをともに見つめ、語り合い、行動する。
そこから新たなソリューションを提供していくという、
私たちのビジネスの原点です。
パートナーの成功を私たち自身の成功とする信念とも言えるでしょう。

2つのポリシーは、当社グループ社員全員に深く根づいています。
様々な人を思い、一人ひとりの立場や気持ちになる。寄り添う。
いっしょに悩み、いっしょに考えて、いっしょに行動する。

日々の業務で磨いてきた、こうした強みと使命感を、
私たちは様々な活動においても発揮したいと努力しています。

今回の「ソーシャルアクション・ブック 2017」では、
活動のレポートだけでなく、
その活動にかけた社員たちの想いと、
めざしている「新しい幸せ」を紹介いたします。

「新しい幸せをつくろう！」
— ぜひご一読いただき、この私たちの息吹を
感じてください。

博報堂DYホールディングス
代表取締役社長
博報堂DYグループCSR委員会
委員長

戸田 裕一

